

子どもたちが野鳥を含む自然環境を楽しく学んでいけるために おやこバードウォッチング

松岡和彦・油谷邦夫・藤川久美子・豊川尚子・
岩崎健二・谷本実加・宮崎亮太(日本野鳥の会ひょうご)

活動の目的

おやこバードウォッチングは、2011年、日本野鳥の会ひょうごの有志でつくられました。私たちは子どもたちが自然に接し、いきいきとした科学体験をする、そして自然界の厳しさや不思議に感動する中でこそ『観察する力』『考える力』『思いやる力』を身につけてもらえるものと考えています。そのために「野鳥や植物、昆虫、動物など生き物すべてが相互に関連し、影響を与えながら、人も含めた自然環境を造りあげている」ということを共に楽しく学べるように努めています。将来子どもたちが、自然保護や環境問題に関心を持ち、それらの活動にたずさわるようにしてもらいたい、活動しています。



活動の内容

(1) 活動場所

神戸市立森林植物園 2ヶ月毎に森林の野鳥を中心にしたおやこバードウォッチング
甲子園浜 毎年1月にカモ、カモメを中心にしたおやこバードウォッチング
毎年5月にシギ、チドリを中心にしたおやこバードウォッチング

(2) 季節に合った「考える」テーマ

○春

- ・北方への渡りに備え、脂肪を蓄えるための採餌に忙しい冬鳥を観察。
⇒なぜ警戒心が薄れるか、さらに、鳥たちを思いやる観察をすることの重要性
- ・繁殖活動をする野鳥を観察。⇒さえずりの役割、なわばりの意味など
- ・シギとチドリの口ばしなどの形態や採餌の相異を観察。⇒干潟の重要性

○夏

- ・役割を終えた巣箱を観察。
⇒巣材が種によって異なることや巣箱に侵入していた他の動物との関連など
- ・真夏の野鳥が少なく感じ、観察しにくくなるのを実感。⇒なぜそうなのか、巣立ったヒナがどのような場所にいる、なぜ目立ちにくいのか、親鳥もなぜさえずらなくなったかなど

○秋

- ・その年生まれの子鳥を観察。⇒子鳥の分散移動が成鳥に排除されることによって生じる事
- ・渡り鳥を観察。⇒渡りとはどういうものか、なぜ渡りをするのかなど

○冬

- ・アトリの仲間を観察。⇒餌の木の実とクチバシの関係や進化について
- ・新しい巣箱を掛ける場所を観察。⇒巣箱架設の評価、捕食者としてのカラスの巣箱攻略行動、カラスの個体差による捕食技術の差など
- ・子どもたちと一緒に地表面をクワやシャベルで掘り返し、冬なわばりをつくっているルリビタキやジョウビタキがエサを求めてやってくるのを観察。
⇒野鳥から隠れて観察できるブラインドも張って観察。地表面を掘り返す意味など
- ・カモの口ばしなどの形態・採餌方法・雌雄の色彩の相異や求愛行動を観察。
⇒なぜそのような相異が生じるのか

(3) 活動方法

- ①野鳥や他の自然を双眼鏡や望遠鏡などを使用して観察し、図鑑や絵による説明を加えたり、子どもたちにクイズや質問をして、理解を深めてもらうようにしています。



- ②8月の神戸市立森林植物園では、午前はパワーポイントによる紙芝居や鳥の進化、生態などの話、剥製や羽根、古巣などの展示をした室内ワークや、午後に巣箱の中の観察とバードウォッチングを行っています。

- ③甲子園浜シギチドリ、カモカモメおやこバードウォッチングでも同様に紙芝居や鳥の全般的な話をする室内ワークとバードウォッチングを行っています。

- ④パンフレットを参加者に配布し、希望者に内容を深めた「たより」を送付しています。

- ⑤おやこバードウォッチング検定

子どもの向上心に答えるべく、2017年12月より野鳥の識別力、案内力などのテストをし、5段階の検定証を発行して、次代のリーダーを育てる活動を始めました。

活動の現状と今後

活動を始めてから2~3年は、参加者が1~3組と言う時もありましたが、リピーターも増え、野鳥や自然に興味を持つ子ども同士のつながりもできつつあります。いつも子どもたちの気持ちを受け止めつつ、斬新な考えときめ細かな心を持って活動を発展させていきたいと考えています。

第26回 森林植物園 おやこバードウォッチング

主催: 日本野鳥の会ひょうご 神戸市立森林植物園 後援: 神戸市教育委員会

地味かわいいホジョロのなかまたち

ホジョロの仲間には、アサギ、アサツバ、ホシタマシロ、カシラガカ、カシラガカ、ミヤマホシロ、アサギ、アサツバ、ホシタマシロ、カシラガカ、カシラガカ、ミヤマホシロ...

2016/12/20

第17回 森林植物園 おやこバードウォッチング

主催: 日本野鳥の会ひょうご 共催: 神戸市立森林植物園 後援: 神戸市教育委員会

もし鳥がいなかったら

4月、6月、8月、3年後6月

2014.6.15

第4回 甲子園茨 おやこバードウォッチングだより

日時: 2015年5月5日 (火) 10:00~12:00

天気: 晴れ 気温: 20~22℃

場所: 西宮市甲子園茨

参加人数: 4くみ 17名(おとな9名、子ども8名)

受付人数: 10名(松谷、藤川、松岡、藤川、岩崎、渡、小倉、城、谷本、岩崎)

かんさつした鳥 12種

カワウ	アオサギ	ダイサギ	シロチドリ
チュウジャクシギ	イソシギ	キョウジョシギ	ハマシギ
ユリカモメ	セグロカモメ	コアジサシ	ミサゴ

<午後はシギ・チドリのレストラン>

だにっちは「シギ・チドリのなかまは、カニやエビ、ゴカイや水中にすむ小さな虫を食べているよ」といいました。

第30回 親子バードウォッチングだより

日時: 2016年8月21日 9:30~11:00 12:00~13:30

参加人数: 6~4~14人(大人7人、子ども7人)

天気: 曇り 気温: 24~32℃

場所: 神戸市立森林植物園

スタッフ: 7人(松谷、藤川、藤川、岩崎、谷本、岩崎、松岡)

かんさつした鳥

- ヒヨドリ、ホシタマシロ、メジロ、シジョウカラ、エナガ、コガラ、ヤマガラ
- コマメドリ、カシラガカ、ハシブトガラス、アオガラ

観察は、日本野鳥の会ひょうご主催、森林植物園協賛のイベント情報をご確認ください。

検定5級(メジロ)

親子バードウォッチング

メジロのイラスト

親子バードウォッチング

検定4級(エナガ)

エナガのイラスト